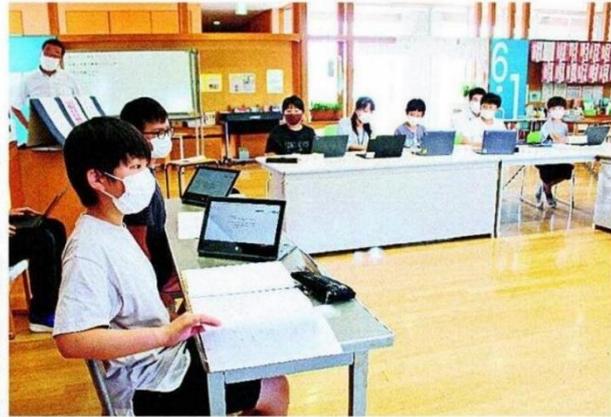


年 組 名前：

# 児童会で端末活用

## 昭和・押原小 ペーパーレス推進



タブレット端末で資料を確認して話し合いをする代表委員会  
|| 昭和・押原小

昭和町の押原小児童会は、児童会活動を議論する委員会で、資料のペーパーレス化を図るためタブレット端末を活用

用している。持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた取り組みの一環で、児童がタブレット端末を使いこなす学習機会の拡大にもなっている。各クラスの代表者が参加して毎月1回開く代表委員会

で、5月から導入した。執行部がタブレット端末で作成した資料を、全児童が閲覧できるアプリ内で共有。委員会では参加者が資料の画面を見ながら議事を進めている。代表委員が決定事項を各クラスに持ち帰って報告する際も、タブレット端末で資料を閲覧。従来は執行部が手書きの紙資料を作成し配布していた。また、児童会活動に関するアンケートの集計にもタブレット端末を使っている。同校は教育内容を含めSDGsを推進していて、紙資源の削減に取り組んでいる。児童会活動でタブレット端末を活用することで、「タブレットを身近な道具として使いこなすようにするための機会も増える」（同校）という。児童会長の青柳空さん（6年）は「手書きで資料を作っていたときに比べて準備も楽になった。アンケートなどに

もさらに活用してSDGsの取り組みを進めたい」と話している。  
〈杉原みずき〉

(2022年7月20日付 山梨日日新聞21面)

問1 押原小児童会は、なぜ、資料のペーパーレス化に取り組んでいるのですか。

理由を2つ教えてください。

.....  
.....

問2 児童会長の青柳さんは、タブレット端末を使うことで、準備が楽になったと話しています。

あなたなら、タブレット端末を、何に使えば良いと思いますか。

.....  
.....